

大腸癌(進行・再発) 1st, 2nd Line

FOLFIRI+Bevacizumab療法

患者ID : @PATIENTID ()コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
\$HEIGHT01_Doc	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース14日。 DAY 1に点滴開始。初回49.5時間。

投与基準: class A (2回目以降class B)

- ※ ベバシズマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。
- ※ UGT1A1遺伝子多型検査を考慮
- ※ 原則、埋め込み式ポート挿入後は1週間以上、腹部手術前後は6週間以上空けて投与すること。

《使用薬剤》

ベバシズマブ (BEV): (ベバシズマブ) 100mg/4mL、400mg/16mL

イリノテカン (CPT-11): (イリノテカン) 40mg/2mL/V、100mg/5mL/V

レボホリナート (I-LV): (レボホリナート) 25mg、100mg/V

フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
ベバシズマブ	5 mg/kg	#VALUE!	
イリノテカン	150 mg/m ²	#VALUE!	
レボホリナート	200 mg/m ²	#VALUE!	
フルオウラシル(急速)	400 mg/m ²	#VALUE!	
フルオウラシル(持続)	2400 mg/m ²	#VALUE!	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

1月1日 (金)

メイン 側管

0時00分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 13.2mg 15分で点滴静注		
0時15分	②	生理食塩液 100mL + ベバシズマブ注 90分投与 (初回は90分、2回目以降は60分・30分に変更可)	mg	0.0 mL
1時45分	③	生理食塩液 250mL + イリノテカン注 ④と同時に開始し、90分で点滴静注	mg	0.00 mL
	④	生理食塩液 250mL + レボホリナート注 側管から③と同時に開始し、2時間で点滴静注	mg	
3時45分	⑤	生理食塩液 40mL + フルオロウラシル注 全開(15分以内)で急速静注	mg	0.00 mL
4時00分	⑥	生理食塩液 50mL フラッシュ(終了後材料を除去)		
4時05分	⑦	生理食塩液 140 mL + フルオロウラシル注 トレフューザーポンプで46時間持続投与	mg	0.00 mL

1月3日 (日) 2:05 頃 点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する

REFERENCE

Charles S. Fuchs, John Marshall, Edith Mitchell, et al: J clin Oncol 25: 4779-4786, 2007
Randomized, Controlled trial of irinotecan plus infusional, bolus, or oral fluoropyrimidines in first-line treatment of metastatic colorectal cancer: result from the BICC-C study

第9回化学療法プロトコール審査委員会承認: 2009年8月6日 更新日: 2016年12月12日